

おはようございます！

2023年8月19日(土)
第73次米沢地区
国民教育研究集会

憲法をいかし、平和を守り、真実をつらぬく民主教育の確立を！

今 次 教 研 の 基 調

おはようございます。今年も国民教育研究集会を開催します。

ロシアによるウクライナ侵略から1年半。欧米諸国は相変わらず武器を送り続け、戦いが止まる兆しさえありません。この間、ウクライナでは子どもの死者が少なくとも500人を超えたとされています。胸が痛みます。

G7の核抑止論

5月のG7広島サミットで、首脳たちは平和公園に参列するデモンストレーションを演じたものの、「核兵器による抑止力」を維持する姿勢を見せ、被爆者をはじめ国内外から大きな批判が巻き起こりました。8月6日の平和祈念式典でも、広島市長、広島県知事は岸田首相の面前で、そろって核抑止論を厳しく批判しました。



教職員組合は、多くの教え子を戦場に送り戦争に加担したという教師たちの痛苦の経験から生まれました。「教え子を再び戦場に送るな」のスローガンが採択されたのは、朝鮮戦争の最中の1951年です。この年に第1回全国教研集会が開催されています。

深刻化する教職員不足

どの学校でも青年層が多くなり、産休や育休を取得する先生も増えていますが、今はまともに産育休代も病休代も配置されることはありません。今年度初めは、山形県内で11名の先生が不足する状態で新年度が始まっています。

アベ政治による教員免許更新制、指導力不足教員制度、人事評価、賃金の大幅削減、管制研修の大幅強化などで、教職員は疲弊し、体をこわす仲間も増えていきます。過重な勤務や周囲の圧力で、学校はブラックだと広まり、教育の仕事に就こうという若者も激減しました。教員免許更新制が廃止された後も、さらに教員の研修を生涯にわたって記録し、評価し、新たな研修を命令し、研修の成果が上がらない場合は免職もちらつかせる、という新たな研修制度も来年度から本格的にスタートします。いったいどこまで教職員を管理すれば気が済むのでしょうか。

教職の生きがいを取り戻そう！



教育は未来をつくる仕事です。教師は、子どもたちの学びと成長を共有できる、生きがいのある素晴らしい仕事です。だからこそ、私たちは一生の仕事として教育の仕事を選びました。

また教育は、自由で創造的な仕事です。私たちの先輩教師も、そして私たち自身も、子どもたちに「わかる授業」と「民主的な集団づくり」を核とした学級・学校づくりを学び合い、地域に根ざした教育を長年育んできました。大きな世代交代を迎えている今、みんなが夢を語り合い、豊かな人間関係を育み、一人ひとりが持つ力を精一杯発揮できる学校を取り戻さなければなりません。2学期も共にがんばりましょう。